

美術の技法・材料に関する広領域的研究 (①美03-10-5/5)

目 的

本研究は文化財にかかわる諸分野との提携による作品の多角的研究を目指す。具体的には作品を構成する材料や用いられた技法、制作の過程、作品の成り立ち、生成されてから今日にまでそれがどのように受容され、あるいは伝来してきたかなどを、関係の文献史料や、あるいは作品そのものに対する科学的・光学的分析（X線撮影など）を援用しながら解明し、文化財についてより深く考究していくことを目的としている。

成 果

1. 報告書の刊行

過去4年にわたって行ってきた脱活乾漆技法の解明のための作品調査を総括した報告書『研究資料 脱活乾漆像の技法』を刊行した。

2. 作品・関係資料の調査・研究：本年度は以下の作品調査を行った。

ア) 神光院蔵木造薬師如来立像

イ) 神光院蔵木造地藏菩薩立像

3. 彩色関係データベース（語彙・史料編）の公開

美術工芸品の彩色を考えるうえで史料上にあらわれた関係語彙とその使用例を総覧することを目的に、彩色関係資料データベース（語彙・史料編）のデータ集積とホームページでの公開を行ってきた。今年度はこれまで集積してきた全データを再点検し、その精度を高めることにつとめると同時に索引を作成して上記報告書にCD-ROMを添付した。

4. 寄贈資料の整理

前年度までに寄贈を受けた資料のうち、技法材料研究ととくに関わりの深い久野健旧蔵資料および秋山光和旧蔵資料の整理を進めた。

5. 研究会の開催等

研究会2件（2010年11月24日、皿井舞「作品紹介 京都神光院・地藏菩薩立像」／2010年12月17日、皿井舞「平安初期神仏習合彫刻史試論 京都・神光院薬師如来立像をめぐって」）を開催し、調査結果を報告した。

関連論文・発表等 4件

- ・津田徹英「研究資料 奈良国立博物館蔵 木造南無仏太子立像」『美術研究』401 pp.50-56 10.8
- ・津田徹英「脱活乾漆技法覚書」『研究資料 脱活乾漆像の技法』 pp.25-32 11.3
- ・皿井舞「作品紹介 京都神光院・地藏菩薩立像」企画情報部研究会 企画情報部研究会室 10.11.24
- ・皿井舞「平安初期神仏習合彫刻史試論 京都・神光院薬師如来立像をめぐって」企画情報部研究会 企画情報部研究会室 10.12.17

報告書の刊行 1件

- ・『研究資料 脱活乾漆像の技法』東京文化財研究所 11.3

研究組織

○綿田稔、田中淳、山梨絵美子、勝木言一郎、津田徹英、塩谷純、皿井舞、江村知子、土屋貴裕（以上、企画情報部）